



『帰路』川島 照代画

## 理念

- 安心・安全・やすらぎ・心のこもったサービスを提供します。
- 地域・住民・患者から評価・信頼される医療を提供します。
- 絶えざる改善と生涯教育を継続し、職員個々の能力を向上します。

## 運営方針

- 整形外科の専門病院として、良質の医療を提供できるように最善の努力をします。
- 患者、利用者の権利を尊重し、インフォームド・コンセント(説明・同意・納得)を含む安全管理を徹底します。
- 「医は仁ならざるの術、務めて仁をなさんと欲す」の精神を尊重します。
- 社会の変化にしなやかに対応しながら心技態を切磋琢磨し、全人間的な成長を目指します。
- 地域の皆様の健康と生命を守るために最善を尽くします。
- 職業を通じて地域社会に奉仕し、地域の社会的共通資本として認められるように努力します。
- 高齢化社会を迎え、安心・安全と心のこもった医療・介護を提供します。

# 新年のごあいさつ

社会医療法人 玄真堂 川崙整形外科病院

院長 川崙 眞之



新年、明けましておめでとうございます。平素よりご支援・ご高配をいただき誠にありがとうございます。

2019年末、中国に端を発したCOVID-19は、長くても1年もすれば落ち着いてくるのではないかと当初は高を括っていました。いざ蓋を開けてみると日本で最初の感染者が見つかったから既に3年が経とうとしています。

今思えば、パンデミック1年目となる2020年においては、COVID-19は従来のインフルエンザ感染症等よりもかなり死亡率が高く、感染経路もよくわからない得体のしれぬ感染症として恐れられ、様々な社会活動が停止に近い状態となりました。当然、当法人もそのおおりを受けまして収入は大きく落ち込み、職員に対しては賞与を一部カットせざるを得ない状況となりました。まさに断腸の思いでしたが、そのような状況でも当法人に残り、熱い思いで地域医療を支えている全ての職員を誇りに思うとともに、この場を借りて厚く感謝の意を表したいと思います。

当院は医療資源が限られた県の辺境にある整形外科単科病院であるため、COVID-19以前より専門領域の対応で手一杯でした。また常勤内科医師が不在でもあるため、発熱外来や新型コロナウイルス患者の入院協力病院の役割を担うことは困難でした。しかしながら、おこがましいかもしれませんが「地域を守っていきたい」という皆の信念のもと、新型コロナウイルスの感染リスクを伴う発熱患者で、救急患者をはじめとする整形外科に関する患者においては、他院が受け入れを停止する中、できる限り積極的に受け入れる方針で診療を行い、現在も入院・手術を要する新型コロナウイルス患者の骨折等の患者を受け入れています。また、院内外問わずワクチン接種やホテル療養等にも多くの医師・職員が参加しています。

このようにCOVID-19に対しては職員が一丸となつて救急医療等に対応してきたわけではあります。当初、発熱外来や新型コロナウイルス患者の入院協力病院ではないとのことで、抗原定性検査キットの購入やワクチン接種の順番が後回しになりました。また4月に行われた診療報酬改定におきましては、以前から取り

組んできた院内感染対策に対する診療報酬上の加算が同様の理由で算定できないようになりました。喫緊の課題としては、他の疾患で手術を要する新型コロナウイルス患者に対して投与する高額な抗ウイルス薬については、DPCという入院医療費の支払制度により薬代が包括（病院負担）となる可能性があり、手術を要する患者さんには薬を安易に投与することができない状況となっております。

未曾有の国難であり、変異しやすいウイルスの性質やそれを取り巻く環境で早急な対応が難しいことは承知していますが、新型コロナウイルス感染症が主であれば様々な支援や対応が行われる一方、他疾患を主とするなかで新型コロナウイルス感染症が合併する場合（現在はむしろその方が大変なことも多々あるのですが）の医療制度上の仕組みが十分には構築されていない、もしくは対応できていないように思われます。世の中がwithコロナで動く一方、医療機関・介護施設では未だゼロコロナに近い対応が求められています。医療・介護のみが社会から切り離されるわけでもなく、入院患者や

職員などの感染で国内の多くの医療機関・介護施設がその対応に苦慮していることと思います。地球温暖化が進む中、このような感染症は今後、数十年に1度は発生するのではないかと、ともいわれています。今回のCOVID-19での様々な経験を糧に、次の新たなパンデミックに備えて今後の日本の医療制度がよい方向にむけて再構築されていくことを期待したいと思います。

昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻や中国や北朝鮮等による不穏な世界情勢、またそれらに起因する物価上昇など将来に不安を覚える暗いニュースも多くありましたが、年末のサッカーのワールドカップにおける日本チームの活躍や、オミクロン株によるウイルスの弱毒化とそれに伴う経済活動の活発化など明るい兆しも見えてきました。本年がより良い年になることを祈念したいと思います。

当法人は急性期から回復期・介護までの地域包括ヘルスケアを担う整形外科専門総合病院・法人として前進していきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いたします。

# 第36回マンダラゲの会開かる

社会医療法人 玄真堂 川島整形外科病院

理事長 川島 真人

去る10月15日、第36回マンダラゲの会が大江医家史料館及び西蓮寺において開催された。恒例の薬草園の手入れに

は奥塚正典中津市長の出席も得て、大勢の市民の参加の下に行われた。(図1)その後、西蓮寺に移動し、前愛媛県立中央病院麻酔科集中治療センター長・土手健太郎先生の「華岡青洲と弟子たち」の特別講演が行われた。(図2)講演に先立ち、この大江医家史料館の事始めとマンダラゲの会について私が講演を行った。2004年に現大分県議会議員の今吉次郎氏と「キャラバン中津」を創立し、蘭学勉強会をしていた頃、代々中津藩の御典医をしていた大江家の9代目大江満氏(図3)が家屋敷を中津市に寄贈されるという話があった。史料館発足前に市民の皆さんに大江家のことを知っていただくために、大江家が市民の健康維持を目的に桜町で営んでいた「大江風呂」(薬草風呂)(図4)の薬草を大江薬草園から提供し

ていたという史料を入手し、福岡の漢方治療と薬草学の権威原敬二郎先生(図5)のご指導で、エーザイ内藤記念くすり博物館から薬草の苗30種を毎年いただき、ポランティアの皆さんと春に植栽し併せて蘭学の講演会を行うようになった。(図6)秋には薬草を採取して講演会の後に金色温泉で薬草風呂に入り、前野良沢が愛好した一節截(ひとよぎり)の笛を聴きながら懇親会で語り合うという「マンダラゲの会」を開催することになった。(図7)大江医家は2004年7月から中津市立大江医家史料館(図8)として発足し、「マンダラゲの会」は2005年春に正式発足し、今秋36回を迎えた。「マンダラゲの会」の由来は、私が和歌山県の華岡青洲の「春林軒」を訪ねた折に、最寄駅の名手駅長前川雄造氏(図9)よりマンダラゲの苗をいただき持ち帰ったことから薬草園



図2. 講演する土手先生と青洲の面



図1. 大江医家薬草園手入れ 奥塚市長と

ていたという史料を入手し、福岡の漢方治療と薬草学の権威原敬二郎先生(図5)のご指導で、エーザイ内藤記念くすり博物館から薬草の苗30種を毎年いただき、ポランティアの皆さんと春に植栽し併せて蘭学の講演会を行うようになった。(図6)秋には薬草を採取して講演会の後に金色温泉で薬草風呂に入り、前野良沢が愛好した一節截(ひとよぎり)の笛を聴きながら懇親会で語り合うという「マンダラゲの会」を開催することになった。(図7)大江医家は2004年7月から中津市立大江医家史料館(図8)として発足し、「マンダラゲの会」は2005年春に正式発足し、今秋36回を迎えた。「マンダラゲの会」の由来は、私が和歌山県の華岡青洲の「春林軒」を訪ねた折に、最寄駅の名手駅長前川雄造氏(図9)よりマンダラゲの苗をいただき持ち帰ったことから薬草園

ていたという史料を入手し、福岡の漢方治療と薬草学の権威原敬二郎先生(図5)のご指導で、エーザイ内藤記念くすり博物館から薬草の苗30種を毎年いただき、ポランティアの皆さんと春に植栽し併せて蘭学の講演会を行うようになった。(図6)秋には薬草を採取して講演会の後に金色温泉で薬草風呂に入り、前野良沢が愛好した一節截(ひとよぎり)の笛を聴きながら懇親会で語り合うという「マンダラゲの会」を開催することになった。(図7)大江医家は2004年7月から中津市立大江医家史料館(図8)として発足し、「マンダラゲの会」は2005年春に正式発足し、今秋36回を迎えた。「マンダラゲの会」の由来は、私が和歌山県の華岡青洲の「春林軒」を訪ねた折に、最寄駅の名手駅長前川雄造氏(図9)よりマンダラゲの苗をいただき持ち帰ったことから薬草園



図4. 大江風呂



図5. 原敬二郎先生と



図3. 大江家を寄贈した大江満氏



図8. 大江医家史料館



図7. マンダラゲの会懇親会



図6. 講演を終えて栗田教育長と



図11. 青洲麻酔の図  
立石清美画伯筆 シカゴ榮譽会館



図10. マンダラゲの花



図9. マンダラゲの苗をくださった前川雄造氏と

の植栽が始まり、多くの市民の方々の協力を得ながら18年間にわたって継続されてきた。華岡青洲が1804年に、マ



図14. 再建された春林軒



図13. 土手先生を紹介する坂山先生

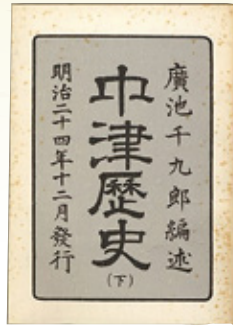


図12. 廣池千九郎の中津歴史

ンダラゲを主薬とする「麻佛仙(痛仙散)」による全身麻酔で乳癌の手術を世界で初めて成功したことから(図10、11)

大勢の医師達が和歌山県の華岡塾に集まり収容出来なくなった。そのため青洲の末弟良平が開いた大坂分塾「合水堂」に雲澤をはじめとし大江家から5名が入塾した。大江雲澤は1871年、大分県で最初の中津医学校長に就任したことが廣池千九郎の『中津歴史』に記載されている。(図12) 土手先生の講演に先立ち中津市出身の坂山憲史先生(図13)による紹介が行われた後、土手先生より自己紹介を兼ねて、日本における麻酔学の歴史について述べるとともに、新型コロナウイルスに使用されているエクモ等最新の医療についても話された。その後、青洲の医塾「春林軒」が復元され(図14) 青洲の姿も再現されていることを紹介された。(図15) 有吉佐和子による小説『華岡青洲の妻』の発刊後、広く紹介され多くの人に知られることとなった。この全身麻酔による手術は、どのようにして広まったか判明していなかったが、土手先生はインターネット等を駆使して、四国、中国、九州17県の門人の記述

から九州で230名、そのうち大分県は55名の医師達によって実施されたことが判明した。実際にカルテの記録として残されているものは、全国で23か所559件の記録があり、大坂分塾では23件が判明している。これらの手術は世界で最も早い時期の全身麻酔手術であり、その40年後に米国のハーバード大学においてエーテル麻酔の手術が行われたことから、(図16) 驚くべき先駆的な事業であったことが判明した。中津の大江家には手術の記録は見当たらないが、驚くべき先駆的な蘭学者の多様な精神に触れて、中津に戻り、大分県で最初の医学校を創り多くの医師を教育したのと思われる。(図17) 中津の医学の学問訓は「医は不仁の術、務めて仁をなさんと欲す」(図18) というもので、現在においても多くの大学や学会で取り上げられている。



図18. 医は不仁の術



図17. 大江雲澤



図16. ハーバード大学 エーテルドーム  
留学中の眞之院長と



図15. 華岡青洲  
大江医家史料館蔵

## 第40回大分県病院学会に参加して

4階病棟 看護師 吉松 嘉子

2022年11月20日第40回大分県病院学会に参加させて頂きました。

今回は第40回の記念学会となるはずでしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらず、残念ながら今年も去年同様、リアルイベントとオンラインイベントを組み合わせたいイベントを開催となりました。

今回はオンラインイベントで面会制限から発生する患者・家族の不安軽減ができるよう、固定チームナーシング活動として取り組んだ成果を



発表させて頂きました。認知症自立度判定Ⅱ以上の患者で、入院中に家族と連絡が自分で出来ない方を対象とし、入院時面会制限に対する患者・家族の要望を確認し、リモート面会及び看護師から入院生活に関する定期報告の実施を行いました。

入院患者の大半は80代の高齢者で携帯操作やリモート面会に馴染めないでいました。

今回の活動を通して、感染拡大を防ぐために我慢を強い



## 4病院研修会に参加して

地域医療福祉連携室 副主任 小倉 涼子

10月22日に当院にて4病院研修会が開催されました。4病院研修会とは、整形外科の専門病院が、日々の業務の課題、今後の方向性について合同で研修を行うものです。ここ数年はコロナ禍で実際に会うことはできませんでしたが、

この研修会では、面会できない代わりにできることを提案し、患者の身近な存在として認識してもらえたことは不安軽減だけでなく、治療意欲にも繋がられたと感じました。

コロナ禍による面会制限は今も継続されています。感染防止に努めながらも患者が安心して治療継続ができるよう努めていきたいと思っています。またコロナ禍における看護の役割を十分発揮し、決められたことを決められた通りに実践するだけでなく、患者・家族にとつての最善策をつくりだせるよう今後も活動を継続していきたいと思っています。

今回は対面での研修会を開催することができました。研修会では部門ごとにテーマに沿ってディスカッション、全体発表、その後懇親会を行いました。

地域連携部門では「地域包括ケアシステムにおける切れ目ない入院支援にむけて」について話し合いました。各病院の地域は全く異なりますが、共通する課題として、身よりのない高齢者や認知症のある高齢者の増加、またコロナ禍によりケアマネや他施設との面会が行えないなどがありました。そ



のような現状だからこそ、顔の見える関係づくりが大切であり、地域の医療福祉機関との連携が重要であると再認識することができました。

部門ごとの討議では業務における悩みを共感でき、今後の業務の参考になりとても有意義な時間となりました。また、この研修会が切磋琢磨する仲間との情報交換の場として、今後も継続の必要性があることを改めて感じました。最後に、懇親会は密をさけるため部門ごと会場が異なりましたが、各会場とも話は尽きず盛況のうちに終わりました。



# 第36回

## マンダラゲの会

回復期リハビリテーション部

堂後 新



10月15日マンダラゲの会に参加し、華岡青洲という人物についてお話を聞きました。華岡青洲は自ら麻酔の研究と作成を行い、世界で初めて全身麻酔による外科手術に成功した医師であることを知りました。全身麻酔を初めて作った人物が日本人であることに驚きました。歴史を掘り下げていくことで、薬という難しい分野にも少し興味を持つことが出来ました。今後も医療の歴史について調べ知識を深めたいと思いました。

# なのみ敬老会

施設ケアマネージャー

福田 郁恵



令和4年9月14日、なのみ敬老会を行いました。

午前中は、なのみの方の最高齢者104歳2名の方にお話を伺いながら、長寿のお祝いとゲームを行いました。お話の中で長生きの秘訣を伺いましたが、「毎日牛乳を飲んでるからかな？」とおっしゃっていました。

また職員から利用者様の様子からし頃の話しもあり、目に涙が滲む場面もありました。ゲームは紅白に分かれて筒通しを行いました。久しぶりのチーム対抗戦という事もあり、皆さん



協力しながら真剣に取り組まれていました。2回戦の予定でしたが、急遽3回戦まで実施する白熱ぶりでした。昼食前にはセラピストと一緒に体操を行い、しっかりとお腹を減らしてから、ちらし寿司に天ぷら、茶碗蒸しと豪華な松花堂弁当を召し上がって頂きました。

午後からは理事長先生とリチャード先生によるケーナ演奏と職員による出し物を行いました。ケーナの音色に合わせて皆さん歌を歌う姿があり、会場は穏やかな雰囲気になりました。職員の出し物ではいつもと違う職員の姿に、コロナ禍で制限の多い時期ではありませんが、マスク着用のまま目をパッチリと開けてワハ！ワハ！笑いながら笑顔で楽しんで頂けました。今後も試行錯誤しながら施設生活を楽しくて頂けるよう職員一同努力して参ります。



# 職員旅行を終えて

親睦委員長 看護師 加木 真以

職員旅行を終えて、まずは今年度も予定通り行え、全スタッフが何事もなく無事に行き帰りできたことにホッとしています。

旅行前後の抗原テスト、マスク会食の徹底、バスや食事は距離を置いて着席することなど、コロナ対策もパッチリだったのではないかと思います。親睦委員の皆さんはもちろん、旅行に参加した職員一人ひとりが何事に対しても協力的でした。そして、多くのスタッフからの声かけもあり本当に温かい病院だと改めて感じる旅行でした。そんな皆さんと今後も切磋琢磨しながら手を取り合って、より良い病院をつくって行けるよう共に頑張っていきたいです。





湿布とは、ある程度の水分を含んだ布のことを意味します。  
湿布薬には大きくわけて、パップ剤とテープ剤（プラスター）があります。

## パップ剤

水分を多く含み、プルプルした感じの、厚手のものです。  
水分が蒸発することで、熱をとってくれます。捻挫や打ち身など熱をもっているような急性期の痛みに適しています。  
皮膚との密着性は高くないので、剥がれやすいです。



## テープ剤

水分はあまり含まず、薄く、皮膚との密着性が高くなっています。  
かぶれや痒みができることもあり、ひどい時には間にガーゼなどあててもいいでしょう。また剥がれにくい場合に、無理に剥がそうとすると肌をいためることもあります。水でぬらすと楽に剥がれます。  
1日1回のものが多く、慢性的に続く痛みに適しているといわれます。  
最近では、痛い患部に貼ったところだけでなく、全身的に効果のあるものもでています。



## 冷感シップと温感シップはどう違う？

冷感シップは、メントールやハッカ油などによるスースーした感じ、温感シップは、トウガラシエキスなどによるピリピリした感じがしますが、どちらも消炎鎮痛の薬の効果は同じです。  
好みで使用して良いと思います。

## なのみ 感染対策の様子

老健なのみ 感染委員長 倉田 美佐



利用者様、職員とも5回目のワクチン接種を終えました。  
施設では日々の感染対策を強化して行いながら、ご利用者様の健康管理と生活支援に努めております。

### 感染を持ち込まない (運ばない)

全職員個々に消毒液を持ち歩き、利用者様に触れる前後はプッシュ!!



### 感染をシャットアウト

全利用者様は食事・入浴以外、マスク着用での生活。  
職員は常にマスク着用とフェイスシールドを使用してダブルガードしながらのケア。



### 日頃から感染対策の実行

もし「陽性者」が発生したら・・・  
陽性者発生時の対応がすばやく行えるよう、日頃からさまざまな準備とトレーニングをしております。その1つとして、ガウンテクニックの練習を行い、今では全職員1分以内に着用できます。利用者様が安心して過ごせるよう職員一同頑張ります。



Dr. コラム



# 「蕎麦」



麻酔科部長  
原西 保典

皆さん蕎麦は好きですか？実家のある本耶馬溪町では減反対策と地域おこしを兼ねて蕎麦栽培に力を入れていきます。「洞門そば」というブランドを知っている方はかなりの蕎麦通ですね。統計によると蕎麦粉の生産量は北海道が1位（約45%）で、長野、茨城、山形、栃木県と続きます。国内流通のうち国産は約20%で多くは輸入品とのこと。知りませんでしたが。私事で恐縮ですが昨年からは蕎麦打ちを始めた。知人から「お手軽そば打ちセット」を半ば押しつけられるように頂いたことをきっかけに蕎麦

打ち名人への道がスタートしました。随分前に一度だけ教室で教わりましたが記憶は遙か彼方。師匠はいません。いろいろ検索して知識だけは詰め込みました。加水し、捏ねて、伸ばして、切って、茹でる。たったこれだけの工程ですが全てが難しい。水分をはじめ全てにおいて「良い加減」が分からないいうえに、一旦始めると後戻りができないという怖さもあります。これまでに上手くできたことはありませんが蕎麦を打っている間は仕事のことは一切考えないので気分転換にはなります。因みに現在私が使っている蕎麦粉は豊前の「求菩提そば」です。蕎麦打ちは楽しいですよ。



## SDGs “今日からできる取り組み” について

地域医療福祉連携室 尾園 幸子



どうなっているでしょうか？そのツケは自分達の子孫に回すことになります。私達はまずSDGsとは何かを知ることを第一歩となります。

そのなかのひとつに食品ロスを減らすことがあります。日本では食べられるのに捨てている食品が年間600万トン以上もあるそうです。ちなみに賞味期限と消費期限について違いをご存知ですか？賞味期限はおいしく食べることが

できる期限で、期日を過ぎた食品がすぐに食べられなくなるわけではありません。食品としてはスナック菓子やカップ麺やレトルト食品、缶詰、ペットボトル飲料などがあります。消費期限は期限を過ぎたら安全ではなくなる可能性があるので食べない方が良いでしょう。お弁当や寿司、サンドイッチ、ケーキや肉、生

麺等があります。一度開けてしまった食品は期限に関係なく早めに食べましょう。買い物に行くとき期限の新しいものを選びたいと思いがちですが、これだと古い商品が売れ残り結果的に食品ロスとなる可能性があります。

また使用済みのプラスチック製品は年間800万トン以上ものごみが海に流れ出ているとのこと。海に流れたマイクロプラスチックを魚が餌と間違えて食べ、その魚を私達は口にしていくかもしれません。しかしきちんと分別すればリサイクル製品（食品トレイや肌着、服、靴など）となります。

次世代のためにもこれ以上地球環境を壊さないこと、限りある資源を大事すること等意識して取り組みましょう。



① ラベルをはがす

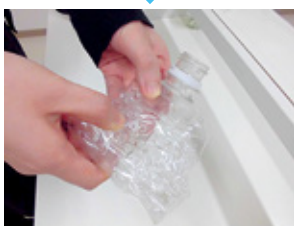


② 洗う

キャップはリサイクルへ



③ 空気をぬく

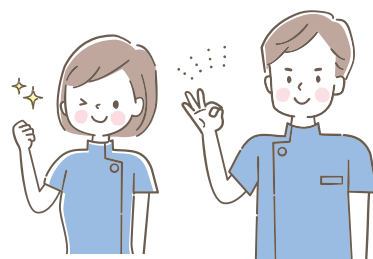


④ 小さくしてリサイクルへ



# 未来のセラピストの ために！

リハビリテーション部  
部長代理 杉木 知武



ユニフォームを  
ブルーに新調した  
リハビリテーション  
部です！新ユニ  
フォームでもよ  
しくお願いしま  
す。

当法人では大分

県内をはじめ、九州・全国の  
リハビリ養成校から多くの実  
習生を受け入れています。令  
和4年度は当法人にて30名以  
上のリハビリ実習生が机上で  
は勉強できない貴重な臨床経  
験をしました。御協力いただ  
いた患者さま・利用者さま、  
大変ありがとうございました。  
コロナ禍で実習受け入れが困  
難な病院・施設が多い中、当  
法人では実習開始前に中津市  
内で7日間待機していただき、  
その後PCR検査・抗原検査  
を行い、実習を開始していま  
す。実習の内容も見学実習  
(1〜3日間程) から評価実習  
(1〜2週間)、総合実習(1  
〜2カ月)と多岐にわたって  
対応しています。最近では地  
域リハビリ実習もはじまり、



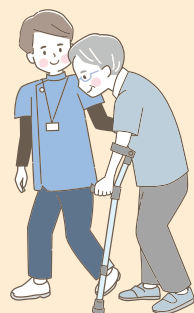
通所リハビリや訪問リハビリ  
での実習も行っています。実  
習指導を担当する理学療法士  
(PT)・作業療法士(OT)  
は日々の多忙な通常業務をこ  
なした上で、実習生指導も行  
います。とても大変ですが、皆  
熱心に指導を行っています。  
将来のリハビリ分野の発展の  
ために！と後輩育成に心を燃  
やしています！そのおかげも  
あり、毎年、養成校卒業後に  
当法人に就職していただける  
学生も多いです。『ここで実習  
できて良かった』との言葉を  
聞くと実習指導者冥利に尽き  
ます。また、リハビリ養成校  
だけでなく、中津市内の高等  
学校・中学校からの体験学習・  
インターンシップも受け入れ  
ています。医療介護分野やリ



ハビリに興味がある方はこの  
ような機会にぜひ体験してい  
ただきたいと思えます。この  
ような活動がきっかけに、将  
来、法人と一緒に働いていた  
だけると嬉しいかぎりです。

## 〈 当法人で実習を行っているリハビリ養成校 〉

- 大分大学
- 広島国際大学
- 神戸国際大学
- 帝京大学福岡医療技術学部
- 姫路獨協大学医療保健学部
- 大分リハビリテーション専門学校
- 麻生リハビリテーション大学校
- 北九州リハビリテーション学院
- 福岡リハビリテーション専門学校
- 九州医療スポーツ専門学校
- 小倉リハビリテーション学院
- 熊本駅前看護リハビリテーション学院
- 山口コ・メディカル学院
- 大阪リハビリテーション専門学校



「当院で製作した膝ラックマン撮影台とその臨床的意義」  
釘丸放射線技師発表  
「コロナ禍による患者・家族の不安軽減を図って」  
吉松看護師発表  
「生物学的製剤治療患者の個別指導による感染0」  
野村看護師発表

2022.11.26  
第122回九州医師会医学会 (大分市)  
「医学史からみたパンデミックとの闘い—温故創新一」  
川嶋理事長講演  
2022.11.28  
大分県北部事例検討会 (Web)  
「右中指・環指基節骨骨折を呈した症例」  
川端作業療法士発表

## 院内勉強会

### モーニングセミナー

2022.9.16  
「担当麻酔症例5000件を見直します」  
原西麻酔科部長  
2022.10.21  
「化膿性脊椎炎について」  
田村センター長  
2022.11.18  
「抗菌薬について」  
川嶋院長

### カワシマハンドセラピー研究会

2022.9.12  
「症例報告」  
奥貞・榎木作業療法士  
「幻肢痛」  
石井作業療法士  
2022.10.17  
「症例：橈骨遠位端骨折・尺骨骨折」  
永田・阿部作業療法士  
「保存療法～母指CM関節症・狭窄性腱鞘炎～」  
杉木リハビリテーション部部長代理  
2022.11.14  
「症例報告」  
奥貞・榎木作業療法士  
「先天性橈尺骨癒合症」  
岸本リハビリテーション部副主任

### 川嶋肩をカタらう会

2022.9.26  
「石灰沈着性腱板炎」  
宮本リハビリテーション部副主任

## 院外発表・講演

2022.9.15  
令和4年度 中津市 運動で健康づくり推進員養成講座 (中津市)  
「元気ハツラツ教室」～運動障害とその予防～  
奥村リハビリテーション部科長講演  
2022.9.24～25  
第10回日本運動器理学療法学会 (Web)  
「ポスター演題 症例研究 I 股関節」  
奥村リハビリテーション部科長座長  
「症例報告4 脊柱1」  
辛嶋リハビリテーション部副主任座長  
2022.10.1  
第63回全日本病院学会 (浜松市)  
「コロナ禍による面会制限に対して動画での情報提供システムの構築に向けた取り組み」  
橋本(直)理学療法士発表  
「在宅支援におけるスタッフ教育の充実 急性期整形外科外来での取り組み」  
小野看護副師長  
2022.10.15  
第36回マンダラゲの会 (中津市)  
「マンダラゲの会の由来について」  
川嶋理事長講演  
2022.10.19  
中津市在宅医療・介護連携推進事業 Web研修会 (Web)  
「訪問看護 看とりの実際」  
太田看護師講演  
2022.10.29-30  
第56回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会、第18回日本臨床高気圧酸素・潜水医学会学術総会合同学会 (佐賀市)  
「当院における減圧症患者の傾向と再圧治療の状況」  
宮田高気圧治療科副主任発表  
2022.10.30  
第28回固定チームナーシング全国研究集会 (神戸市)  
「地域包括ケア病棟における退院指導～チーム活動で取り組んだ装具パンフレット作成から活用まで～」  
南看護師発表  
2022.11.12～13  
第144回西日本整形・災害外科学術集会 (宇部市)  
「母指MP関節垂直位固定の1例」  
太田医師発表  
「手指伸筋腱の嵌入が整復阻害因子となっていた小児橈骨遠位骨端線損傷の1例」  
半田医師発表  
2022.11.20  
第40回大分県病院学会 (別府市)  
「大腿骨近位部骨折患者におけるNST介入の現状と課題」  
加木栄養管理科主任発表  
「入院日数とFIM改善度の関係について」  
松田リハビリテーション部副主任発表

## 看護部勉強会

- 2022.9.24  
リーダー研修
- 2022.10.3  
重症度、医療・看護必要度研修会
- 2022.10.8  
新人中期学習会
- 2022.11.4  
コーチング研修
- 2022.11.5  
コーチング研修
- 2022.11.18  
コーチング研修
- 2022.11.7  
院内医療精密機器、医療ガス安全研修会



- 2022.10.24  
「投球障害肩」  
尾道理学療法士
- 2022.11.28  
「当院での大・広範囲断裂に対する鏡視下腱板修復術後をめぐる諸問題を考える」  
辛嶋リハビリテーション部副主任

## 膝関節勉強会

- 2022.9.14  
「変形性膝関節症の発症および進行と半月板逸脱との関連性」  
羽田リハビリテーション部主任
- 2022.10.12  
「TKAのCPSP: chronic postsurgical pain慢性術後疼痛」  
松田リハビリテーション部副主任
- 2022.11.9  
「膝関節可動域制限について」  
合津理学療法士

## 医局抄読会

第1、2、4火曜日の朝7時45分スタート

2022.9.6

大腿骨転子部骨折のハイリスク患者に対してトラネキサム酸を使用しても合併症は増加しない

渡邊医長

2022.9.13

肩甲上腕関節の変形性関節症に対する治療における解剖学的とリバース型の人工肩関節全置換術後の成績

佐々木診療部長

2022.9.27

ドゥケルバン病患者において短母指伸筋腱固有の腱鞘があるかどうかに対するEPB絞扼テストの信頼性

後藤診療副部長

2022.10.11

閉経前後の女性における橈骨遠位端骨折の重症度と25-OHビタミンD値との関係

太田医師

2022.10.25

非急性前十字靭帯損傷に対するリハビリテーションとの外科的再建：無作為対照試験

半田医師

2022.11.22

急性半月後根断裂修復の成績はデブリードメントや保存療法より優れているか？系統的レビュー

本山副院長

2022.11.29

腱鞘切開術後にばね症状が再発した1例

古江副院長

## 論文（共同含）・誌上发表

- 豊島崇正 他：第2,3,4,5CM関節脱臼骨折の1例，整形外科と災害外科，Vol71，No4，710-712，2022
- 宮田健司 他：当院における減圧症患者の傾向と再圧治療の状況，全日本病院協会雑誌，Vol33，No1，258-262，2022



# 第40回 玄真堂友の会開催のお知らせ

テーマ 「骨折予防 ～骨折に負けない体づくり～」

骨折に負けない健康な体作りをする為の正しい知識や予防方法についての講演他、恒例の参加型健康クイズ、ストレッチ体操、コーラス、ミニ演奏会も開催します。みなさまと一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

- 開催日：2023年3月25日(土) 14:00～16:00
- 場 所：川島整形外科病院1F 玄真堂ホール
- 内 容：講演会・意見交換・健康クイズ等



参加される際はマスク着用・手指消毒など感染予防にご協力ください

## 新規友の会会員募集中!

友の会会員を随時募集中。入会頂くことで様々な特典を受けられます。  
詳しい内容はお近くの職員にお尋ねください。  
パンフレットもございます。

### 会員特典

- ① 高気圧酸素自費治療 5%OFF
- ② アンチエイジングドック 5%OFF
- ③ 川島真人著書 20%OFF
- ④ 玄真堂情報誌「ラ・サンテ」配布等

※友の会会員以外の方もご参加できます。

玄真堂友の会実行委員会

## 編集後記

新年あけましておめでとうございませう。いつもラ・サンテをこ  
愛読頂きありがとうございます。いつともラ・サンテをこ  
皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げると共に、コロナが落  
ち着き、安心して日常を過ごせる事を願うばかりです。  
本年も、皆様のお役に立てる広報誌をお届けできるよう、委員  
一同取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。  
(Y・H)

### 【患者様の権利と患者様の責務】

患者様は、個人としての尊厳が守られ、平等で最善の医療を受ける権利を有するとともに、医療を効果的にするために守って頂きたい事項があります。

#### 〔患者様の権利〕

1. 病気の種類や個人的背景に関係なく、平等に医療を受ける権利があります。
2. 人格は尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで最善の医療を受ける権利があります。
3. 医療に関して十分な説明、情報を求める権利があります。
4. 医療内容について自分で選択し決定する権利があります。
5. 自己の意思に反する医療を拒否する権利があります。
6. 自己の診療記録の開示を求める権利があります。
7. プライバシーや個人情報を保護される権利があります。
8. 健康維持のため教育やサービスを受ける権利があります。
9. 安全を確保される権利があります。

#### 〔患者様の責務〕

1. 医療提供者に対し、患者様ご自身の健康に関する情報の提供
2. 他の患者様の療養生活に支障を与えない配慮
3. 早期回復の為、医療提供者が定めた規則の遵守
4. 円滑な医療行為の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
5. 早期回復の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
6. 診療費の遅滞ない支払い